

●医療は様々な職種の人とのチームワークの上に成り立っている。リーダーは「個性の強さや人より目立つかどうか、外見や弁舌の力ではなく、部下達がいかにそのリーダーについて行きたいと思うか、自らを信奉させることができるかどうか」（2005.1.8朝日新聞より抜粋）が大切である。医療のリーダーたらん医師もこの姿勢が大切であろう。それは大学、病院のみならずクリニックの運営においても同様である。自分もそうなれるだろうか？（川口博史）

●3年前の師走の夜、集まった原稿をかまくら春秋社に届けた帰り、小町通りを駆へ急いでいると塩谷千賀子先生にバッタリ会いました。「今、往診の帰りなの」と、いつものようににこやかでした。すでに肝へ転移と、風の便りに聞いた直後でした。まだ往診もされているのかと驚き、どう声をかけていいのかわからずでした。本当に強くて優しい先生でした。合掌。（木花 光）

●昨年は度重なる台風の襲来と中越地震に怯えていたところ、とどめは年末のスマトラ沖地震のTSUNAMIでした。天災に出くわしたら助かるすべはもう無い様な気がします。ところで、今年も1月の神皮編集会議の開催日は芥川賞・直木賞の発表日と同日でした。発表当日に行われる記者会見は毎回東京會館で行われることを今回知りました。東京會館は20年前わが夫婦の挙式・披露宴の場でもありました。（宮本秀明）

●昨年末に新日本マットに復帰し暴れまくっている長州力選手。驚くことに53歳。44歳の私がへばっているわけにはいきません。細胞の若返りを期待し流行のCoEQ10を摂取し、クエン酸で基礎代謝を高め、アミノ酸と有酸素運動で脂肪を燃焼させる一方、最近出会った本『「トヨタ式」であなたの仕事は変わる！ 自分が「カイゼン」術』をバイブルに中身も改善中です。巷では日野原重明氏の『テンドー・ラブ』が話題ですが、私はプロレス・ラブで今年も1年いかせていただきます。（相川洋介）

●今回から編集委員として参加させていただきました。と、いってもまだよく分からないので先輩の諸先生方がやっていることを見ている状態です。これからいろいろと覚えていきたいと思えます。顔見知りの先生方には、これから原稿を依頼することになりますので、ご快諾いただけますよう、よろしく願いいたします。（山本 修）

●神皮第11号の編集後記の最後に、塩谷先生の書かれたものがあります。恐らく今年の今頃、お具合の悪い中一生懸命ペンを走らせていらしたであろうお姿を想像すると、目頭が熱くなります。もう2度と先生の笑顔にお会いし、お話することは出来ないのかと思うと本当に寂しく、人の世のはかなさを痛切に感じます。人生、出会いがあれば必ず別れがあるというあたり前のことを、最近骨身にこたえるほど辛く思えてなりません。自分自身もいつ何があっても不思議ではないという年齢になったせいでしょうか。（馬場直子）

●個人情報保護法の施行を4月に控え、医療機関がこの法律とどのように向き合っていくかを勉強中です。法律そのものの罰則は10万円以下の罰金ないし、6ヶ月未満の懲役とのことですが、漏洩した際の賠償責任は1人あたり100万を下らないとか。今年は守秘義務違反詐欺（モレモレ詐欺）がトレンドになるのかなあ。みなさん、真剣に取り組んだ方がいいですよ。きっと。（浅井俊弥）

神 皮 〈第12号〉

2005年 3月 6日発行

発 行 神奈川県皮膚科医会

発行人 菅原 信

〒247-0062 鎌倉市山ノ内635

電話 0467-47-8223

制 作 かまくら春秋社

表紙のことは●^{あひづり}燈摺港のヨット

4年前に亡くなった父の、趣味の拙画です。父は船乗りでしたが、若い頃から絵心があり、異国の港に入港する直前数分間で描いたというスケッチなどが、多数残っています。私も幼い頃から、時々父と一緒に風景画を描きに行きました。ヨットにもよく乗せてもらったものです。海が大好きだった父の墓石には、大きく「海」と刻んであります。

（馬場直子）